

みなさんの声を市議会に取り上げ、実現を迫ってきました。
その議会報告をお届けします。ご意見・ご感想をお聞かせください。

地域のみなさんとごいっしょに まちの要求を解決してきました	2・3
いのちを大事にする市政、 医療・福祉の充実求めて	4・5
子育て安心の川崎、 子どもの教育環境充実を	6・7
安全・安心の学校生活を送れるように	8
雇用・中小企業・商店街の 振興に取り組んで	9
みどり豊かなまち・すみよい環境めざし	10・11
コミュニティバスの運行やカープミラーの改修など 便利に、安全に暮らせるまちをつくろう	12・13
市民の願いにこたえ 議会でがんばっています	14・15
みどりを残す…柿生の里の緑地保全	16



日本共産党 川崎市議会議員(麻生区)

かつまた みつえ 議会報告

2010年版
日本共産党川崎市議会議員団
川崎市川崎区宮本町1
川崎市役所内 ☎200-3360





地域みなさんとごいっしょに まちの要求を解決してきました。

はるひ野駅前駐輪場設置



設置された駐輪場

麻生 12 号線の道路補修(予定)

「片平公園」排水溝まわり補修
児童公園からの土留めの柵設置と砂場の砂補充

片平 5 丁目公園の砂場の砂補充

私道から市道への移管

通路側溝補修

柿生駅にエレベーター設置(写真①)

麻生水処理センターの腐食外灯の改修(写真②)

岡上通学路にカラー舗装とカーブミラー設置(8 ページ)

側溝のふた取り付け

排水溝のふた改善

粗大ゴミのチケット取扱
店が 17 箇所増えました。

区内 9 箇所 ◆

市外 8 箇所 ★



① 柿生駅に設置されたエレベーター



② 改修された外灯



③ 改修された階段



④ 補修された通学路



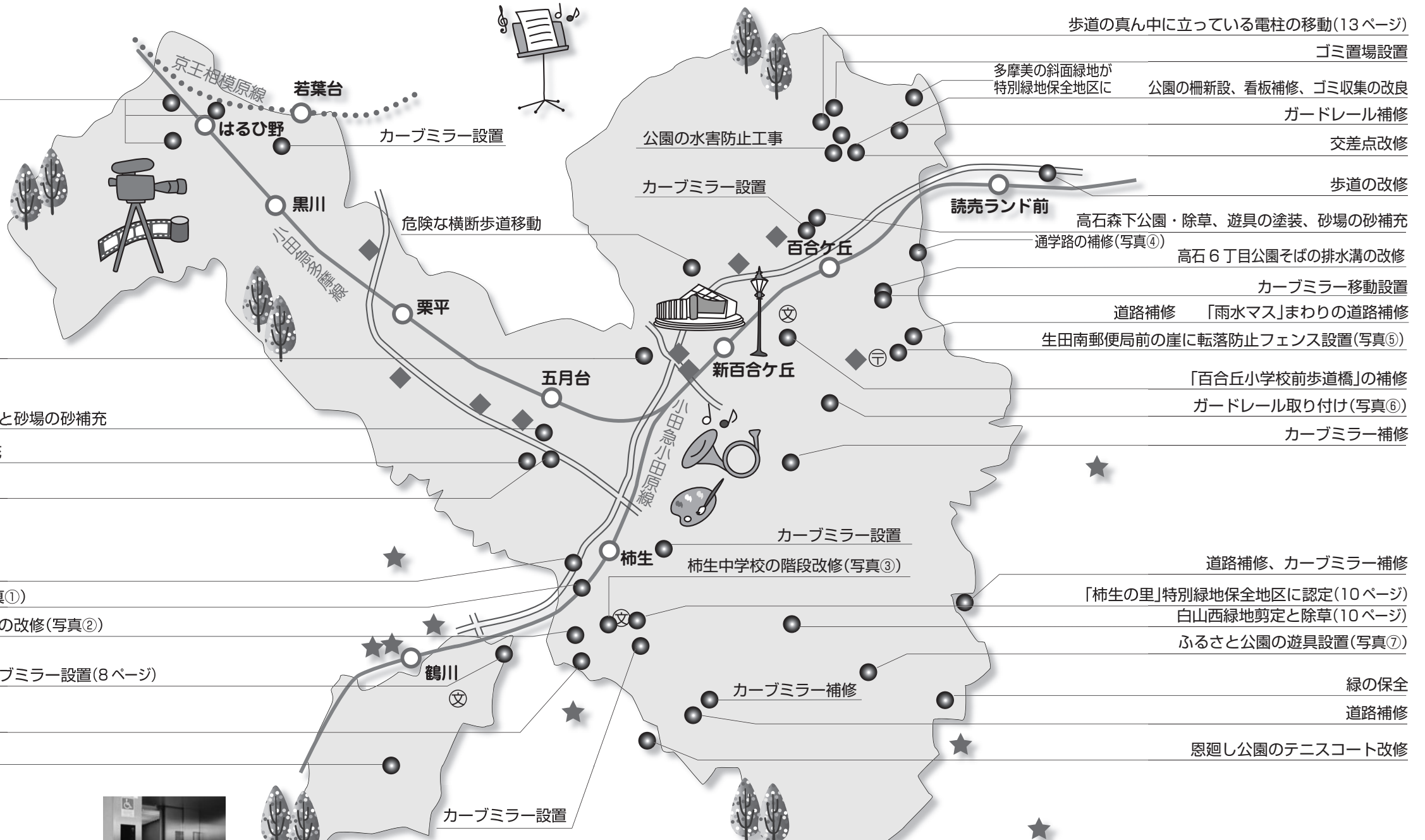
⑤ 設置されたフェンス



⑥ 取り付けられたガードレール



⑦ 設置された遊具



歩道の真ん中に立っている電柱の移動(13 ページ)

ゴミ置場設置

多摩美の斜面緑地が特別緑地保全地区に
公園の柵新設、看板補修、ゴミ収集の改良

ガードレール補修

交差点改修

歩道の改修

高石森下公園・除草、遊具の塗装、砂場の砂補充
通学路の補修(写真④)

高石 6 丁目公園そばの排水溝の改修

カーブミラー移動設置

道路補修 「雨水マス」まわりの道路補修

生田南郵便局前の崖に転落防止フェンス設置(写真⑤)

「百合ヶ丘小学校前歩道橋」の補修

ガードレール取り付け(写真⑥)

カーブミラー補修

道路補修、カーブミラー補修

「柿生の里」特別緑地保全地区に認定(10 ページ)

白山西緑地剪定と除草(10 ページ)

ふるさと公園の遊具設置(写真⑦)

緑の保全

道路補修

恩廻し公園のテニスコート改修

いのちを大事にする市政、医療・福祉の充実求めて



かつまたみつえ 議会報告 — 1

「特別養護老人ホームの増設は急務

川崎の特別養護老人ホームの待機者数は、2010年1月時点で5339人に増えて深刻な事態になっています。市はこれに対して特養ホームの大幅な増設ではなく、介護保険法では「要介護1」以上が入所対象なのに、「要介護3」以上からと基準を改悪することに対応。

共産党市議団は、希望する人がだれでも入れるよう、公有地の活用だけでなく民有地を市が積極的に確保して増設テンポを引



09年10月10日、市議会（プロフィール）
江上光勝（1953年）市議員、健康福祉委員、環境委員会委員、総務委員会委員、社会委員、愛知県八幡市生まれ。麻生区上麻生在住。2007年市議会議員に就任。代表討論を行う。

き上げるよう、くり返して要求してきました。受け皿のひとつである老人保健施設も整備が遅れています。医師や看護師も増やす支援を提起しました。

介護現場は人材不足 市独自の支援策を

低い賃金など劣悪な労働条件で、やむなく離職する人が後を絶たない介護現場。国の2回の介護報酬引き下げで、多くの事業者が人材確保に苦慮しています。こうした実態を告発し、国の施策の受け皿だけでは必要な人材確保ができないと指摘。千代田区など他都市でも実施している介護労働者の労働条件改善をはかる市独自の

入れ歯回収ボックスの設置を

入れ歯の金具や、詰め物、かぶせ物から、一個平均2500円相当の「金銀パラジウム合金」を取り出すことができます。毛布なら8枚、予防注射用注射針なら250人分を、貧困に苦しむ世界の子どもたちに援助できるといいます。

勝又議員はゴミとして捨てられている「入れ歯」をリサイクル・換金し約1300万円の収益金を日本ユニセフ協会に寄付した「NPO法人日本入れ歯リサイクル協会」の活動を紹介し、市としても、「入れ歯回収ボックス」の設置など、協力できないかと、質問しました。

健康福祉局長は、「資源を再利用し、リサイクル事業を行っており、重要性は認識しているので実態把握につとめる」と答弁しました。

「車イス用昇降機に公的補助が実現

09年4月から車イス用の昇降機が介護保険の適用を受けられることになりました。自宅で介護し、階段で苦労している方への朗報です。

勝又議員は、全国の市町村や10政令市がすでに給付対象にしていることを紹介し、川崎市も一刻も早く給付対象にすべきだと要求してきましたが、市は否定的な態度をとってきました。

今回、ようやく国が給付対象にすることを決めたことにもない、市も対応することにしたものです。他に、起き上がり補助

肺炎球菌ワクチンに 公的補助が実現

肺炎による重症化を防ぐのに肺炎球菌ワクチンの重要性が指摘されています。肺炎球菌は細菌性髄膜炎の原因になり、年に200人ほどがかかり10%前後の子どもが亡くなり、30~40%の患者に後遺症が残るといわれています。ワクチンを導入したアメリカでは細菌性髄膜炎が大幅に減少したといわれています。

しかし、ワクチン接種には8千円の費用がかかるため、受けたくても受けられないという声があります。

勝又議員は、09年10月には公費助成を行なっているところが167自治体に広がっていることを示し、市としても公費助成を行なうよう迫りました。

健康福祉局長は、「予防接種

繊維筋痛症への サポート体制を

繊維筋痛症で苦しんでいる人からの訴えがありました。この疾患は、全身に激しい痛みがおこり、光や音の刺激さえも痛みと感じる疾患で、服の接触、布団の重みさえ痛みをあたえ、寝たきりになります。日本では社会保険適用外で、医者が随伴症状で保険を適応させているのが現状です。

勝又議員は、検査しても異常が判りにくいため、「詐病」「怠け病」と見られ辛い思いをしたり、確立した治療法もなく保険適用外のため、患者は大変な生活苦を強いられている実態を示し、この病気の周知が急務であるとともに患者への援助と、早期に発見・治療をすれば重症化しなくてすむという研究者の指摘を紹介し、川崎市として実態調査とサポート体制の確立を求めました。



スカラモバイル社のホームページより



子育て安心の川崎、 子ども教育環境充実を



かつまたみつえ 議会報告 — 2

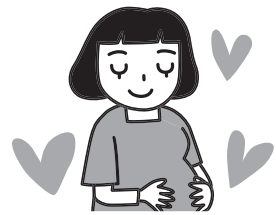
「安心して出産できる 産科医療体制を」

川崎市では、産院などで分娩取り扱い病院が減り、産むところを確保するのに大変な状況です。

根本には産科医師不足がありますが、共産党市議団は、分娩取り扱い病院への支援策、助産師の活用などを提案しています。

●妊婦健診への公費助成14回に拡大

保険が使えない妊婦健診への公費助成が、09年4月から、それまでの5回から14回に増え、助成額(合計)が2万6千円から8万9千円に増額されました。



共産党市議団が当初から14回まで助成を増やすべきと、ねばり強く求めてきたことが実現したものです。

小児医療費助成 中学生までの拡充を

子どもが病気のお金への心配をせずに病院にかかれる小児医療費の無料化は、子育て世代にとって切実な願いです。しかし、川崎市は、所得制限によって小学校就学前の対象年齢の約25%が助成を受けられません。

共産党市議団は、東京都23区すべてで通院・入院とも所得制限なしで中学卒業まで医療費を無料化していることを示し、所得制限の撤廃と、中学卒業まで拡充するよう求めています。

母子家庭の 就労支援を



共産党市議団主催で開かれた教育シンポジウム(08年9月17日)

9歳の子を育てている母子家庭のあるお母さんから、週末も休まず働き続けても月11万円にしかならないことから、安定した職業につきたいと訴えら

急がれる待機児童ゼロへの対策 認可保育園の増設に全力

子育て世代の暮らしを支え、働きつづきたい女性を支え、子どもの成長・発達を保障する上でも重要な役割を果たしている保育園が足りません。10年2月時点で、認可保育園へ入所申請した人の約4割が不承諾となっています。共産党市議団は、こうした実態を示し、認可保育園の増設規模とテ



恵庭市(北海道)の子ども発達支援センターを視察



市立川崎病院の救急救命センターを視察

私立幼稚園の保育料補助増額を 毎議会でも要求

多くの自治体が、国の私立幼稚園保育料補助に上乗せ補助を実施。入園料・保育料ともに(平均額が)政令市で一番高い川崎市の上乗せは、所得が一番高いEランク(680万円以上)にしかありません。全ランクに、市独自のの上乗せ補助を求めています。

子どもたちに楽しい学園生活を

れました。勝又議員は、「就職試験を20カ所も受けたのに小学生の子どもがいるから、というだけですべて不採用。一体どうやって生きて

いけばいいのか」という母親の不安と怒りを議会でも代弁し、無料職業案内や、区役所の窓口対応を充実させ、支援を強めるよう要望しました。

少数数学級に前進 さらに拡充を

共産党市議団は、保護者や教育関係者のねばり強い運動と連携し、少数数学級の実現を毎議会でも求めてきました。

その結果、07年度から小学一年生で35人以下学級が実現。09年度には「川崎市独自で少数数学級の実現を」の請願が初めて本会議で全会一致で採択されました。学級編成を少数人数にしていくことは喫緊の課題です。一刻も早く小学二年生の全学級、中学一年生に拡充するために、全力で取り組んでいます。



ランチサービスを試食する勝又議員

1人しか申し込みがありませんでした。

一方、小学校で作った給食をランチサービスとして提供している、はるひ野中学校では喫食率50%と、2人に1人が利用しています。政令市ではすでに、11市、相模原市でも4月から学校給食を始めています。

10年3月議会で共産党市議団の質問に教育長は「小学校の給食室での調理を検討する」と答弁。これを契機に、中学校給食として、ふみ出すことを強く求めていきます。

中学校給食の 実現を

05年1月から中学校51校で始まったラン



雇用・中小企業・商店街の 振興に取り組んで

かつまた みつえ 議会報告—4

またアンケートに書かれていた解雇の「違法」な実態を労働基準監督署に届け是正を要望しました。



寄せられたアンケート

市長は大企業に雇用守る責任果たさせよ
08年後半から、世界的不況を理由に、自動車や電機の製造業を中心に「派遣切り」や正社員への退職強要など「雇用破壊」の嵐が横行しはじめました。共産党市議団は、雇用を守る社会的責任を果たすことを市長が市内大企業に直接申し入れるよう、くり返し要求するとともに、全市民に向けて「雇用と労働に関するアンケート」を実施。

寄せられた派遣切りや解雇・雇止めの実態や、雇用破壊・生活破壊の生の声を市長に届けて、大企業の雇用破壊をやめさせ、労働相談窓口や就業支援の拡大、解雇で住居を失った市民への住宅の手当てや住宅確保のための資金援助などを求めました。



安全・安心の 学校生活を送れるように

かつまた みつえ 議会報告—3

通学路は安全第

「通学路の道幅が狭くて車がすれすれに通る」「歩道がなく薄暗い」「三叉路の横断歩道が危険」など、岡上小学校に通う子の親の声をとりあげ、市に改善を求めました。

教育長は、問題がある箇所については現地調査を行い、歩道の設置の要請を行っているかと答弁。通学路に接する地主さんと話し合い、カラー舗装化された歩道ができ、うっそうとした木々も枝払いされ明るくなりま



岡上小学校に通う子どもたち

給付制奨学金制度 有資格者みんなに 支給すべきです

日本の学費・教育費は世界的に見ても異常な高さです。経済的理由から高校、大学を退学せざるをえな

かったり、修学旅行に行けない中学生がいます。

国民の長期にわたる運動で高校の授業料が無償化されましたが、それ以外でも入学金、制服代、教科書代、クラブ費なども大変な負担です。

川崎市には給付制奨学金制度がありません。応募者は増え、09年で1032人となっているのに、受給者数の定員は04年450人から、現在では350人に抑えられています。勝又議員は、受給資格のあるすべての生徒に支給するよう要求しました。

公立高校(全日制)の 定員枠の拡大を

中学生の進学希望は「公立全日制高校」が約8割なのに対し、県は、公立・私立の定員比率を6対4と公立の割合を希望より低く抑えてしまいました。その6割を補償するためには市内の公立募集定員を22学級(856人)増やすことが必要(10年4月入学)でしたが、増えたのは9学級だけ。共産党市

「公契約条例」が実現へ

川崎市と工事や役務提供の契約を結ぶ企業とその下請け企業の労働者の最低限の賃金確保などを義務付ける「公契約条例」が10年度中に提案されることになりました。

川崎建設労働組合協議会が提出した請願に共産党だけが採択を主張。09年12月議会でも共産党市議団の制定を求める質問に市長が検討を約束していました。

中小企業支援 「固定費」補助、販路拡大支援を

長引く不況で市内中小業者の営業・くらしは大変です。東京大田区では、経営の改善を行ない、工場や雇用維持を財政的に支援する自治体独自のとりくみを始めました。共産党市議団は、川崎市でも、工場家賃や工作機リース代など「固定費」への補助を求めました。

中小企業の製品や技術の販路拡大のために、他企業や大学・研究機関とのマッチングの促進を要求。

議団は、市内中学生が希望する高校に入学できるように、市に定員枠拡大に力をつくすよう求めました。

卒業の春 就職に独自の支援を

県内高校生の就職内定率は全国ワースト4位と深刻な実態です。内定率が高い県では、県内企業に内定した割合が8〜9割であり、高校生の就職にとって、市内企業、地元自治体が果たす役割は決定的です。

共産党市議団は、北九州市が09年12月から行った「新規高卒採用拡大ローラー作戦」を川崎市でも実施し、市長先頭に市内企業をまわり求人開拓に全力をあげるよう求めました。



コфейネーターが増員されましたが、さらなる増員を求めています。耐震改築の補助金を増やして建設業の仕事おこしと防災対策の促進を求めています。

商店街支援 プレミアム商品券で消費刺激を

1万円券を購入して1万1千円分の買い物ができる10%プレミアム付きの商品券は、消費を刺激し、商店街で買い物する人を増やすことが、多摩区商連の独自のとりくみで実証。市は印刷費と広報費の一部を助成していますが、これを増額するとともに、プレミアム分を市が補助する制度の創設を求めています。

白山商店街への支援を求める

麻生区の白山小学校跡地に11年4月、日本映画大学が開校予定です。勝又議員は、同大学に食堂やコンビニを設けずに地域の商店街を利用する考えが示されているのべ、地域の商店街活性化への支援を約束させました。

みどり豊かなまち・ すみよい環境めざし

かつまたみつえ 議会報告 — 5

「みどりを守れ

市内では、次々と大規模マンションが斜面緑地に建設・計画され、豊かな自然環境が減少し続ける危機的状況にあります。買い取りを基本に、あらゆる手法で、緑地保全に全力をあげることがあります。

多摩美の斜面緑地が 特別緑地保全地区に指定

数年前から開発計画が持ち出され検討されている多摩美の斜面緑地について、市民から「残された多摩美の貴重な緑を、次の



新たに特別緑地保全地区に指定された多摩美の斜面緑地

世代に引き継いでいくために、買収も含めた適切な保全対策を、市民との協働による新施策として保全してほしい」と請願がだされ、市議会にて趣旨採択されました。

多摩美の斜面緑地は、業者も緑地を守ることに賛成であり、市民と一緒に買い取り方法について相談ののると言っています。急いで保全のための知恵だしを行なうよう要望しました。

その後、勝又議員は市民の協働によるトラストについても取り上げました。8年にも及ぶ、住民のねばりづよい運動が実り、この地は、10年から特別緑地保全地区の指定になりました。

柿生の里 特別緑地保全地区に指定

柿生の里のまとまった緑地が特別緑地保全地区になり、里地・里山の景観に住民の期待も高まっています。

この夏の調査では、クヌギ、コナラ、エ

白山公園緑地が きれいに

勝又議員は、雑草がうっそうと生えている白山西緑地の樹木の剪定と除草について取り上げ、樹木の剪定枝をチップ状にして

ノキなど222種の植物、メジロ、ウグイスなど11種の鳥類、91種の昆虫、タヌキ、モグラなどのほ乳類、は虫類の生息が確認されています。

勝又議員は、09年12月の議会での周辺の一連の緑の中には、部分的にはまだ保全されていないところもあることを指摘し、さらなる緑地保全を求めました。

環境局長は「尾根線の緑の連続確保のため、緑地保全に努めていく」と答弁しました。



きれいになった白山西緑地

特別緑地保全地区になった柿生の里

「実効性のある温暖化対策を

温暖化対策条例に 共産党が対案

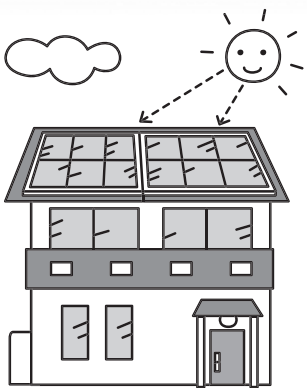
地球温暖化防止のために、責任ある二酸化炭素排出量削減を確実に進めることが求められています。

川崎市が09年12月議会に提案した「地球温暖化対策の推進に関する条例」案で

は、二酸化炭素の排出削減を、排出企業などの「自主性」に委ねるものでした。しかし、同様の仕組みで先行した東京都は削減目標を達成できず、義務付けと罰則を含む制度に踏み出しています。

共産党市議団は、削減義務化と罰則制度を含んだ対案を示して実効性ある制度にするよう要求しました。

太陽光発電補助
ありません



温暖化防止策で再生可能なエネルギー政策の推進が急がれています。

太陽光発電の補助金は、国・県・市をあわせると、1KWあたり14万円の補助が出ることになりました。

国の補助制度には1月から1ヵ月ですでに1万3千人の申し込みがありました。

勝又議員は、温暖化防止に積極的につながる太陽光発電設置に対する補助件数を拡大することを繰り返し要求。10年3月議会でも補助件数が、300件から600件に増やす答弁がされました。

便利に、安全に暮らせる まちをつくらう

「コミュニティバスを走らせよう 市は運行費補助を

麻生区は、山坂の多い地域です。多くのみなさんが、交通不便地域の解消を強く願っています。



運行実験が行なわれた高石の山ゆり号

川崎市のコミュニティ交通は、この10年間に、市と地域住民が協働していくつかの地域で運行実験が行なわれ、麻生区では、南生田地域、高石地域で行なわれま

した。しかし川崎市は、そのいづれも採算性を理由に、事業実施には至っていません。交通不便地域を解消する

ことは行政が責任を持って行なうべきであり、財政面まで市民に押しつけるべきではありません。いま、市内で運行しているのは、自治会・住民が運行経費を負担し、ボランティア活動で支えている野川南台団地(宮前区)だけです。東京・稲城市の「i(あい)バス」のように、運行経費の補助を行政が行ない「市民の足」を確保している自治体はたくさんあります。路線が定着すれば、採算性が上がります。

07年度に行なった、高石の乗り合いタクシー「山ゆり号」の試行運行の事業収支結果は、赤字となったため、運行ルートや所要時間などの見直しを行い、サポーター制度にも取り組みながら、09年度内に試行運行を行う予定でしたが、11年度に持ち越されました。いつ試行運行を行うのかとの勝又議員の質問に、「できる限り速やかに開始したい」との答弁でした。



かつまたみつえ 議会報告

6

また、本格運行に向けた、新たな支援策として、70歳以上の高齢者については、100円割引を考えていること、障害者の方々にしても割引を検討しているとの答弁がありました。しかし、採算性を理由に、試行運行を行なう際の運賃は、大人300円となっていることから、100円割引しても、200円です。路線バス利用と同じように100円で乗れるよう要望しました。

勝又議員は、高石の本格運行待ちにならず、並行して、多摩美・麻生台・岡上地域の実情を把握して、取り組みを急ぐよう強く要望しました。



「危険なカーブミラーの改修を

06年・07年と連続してカーブミラーの腐食が原因で、人身事故が起きています。勝又議員は、市に早急に調査するとともに増設・建てかえを求めました。

質問する中で市に調査漏れのカーブミラーがあることが判明しました。建設局長は「計画的に調査を行い、必要に応じて建てかえを行いたい」と答弁しました。



世田谷町田線整備事業 安全求める市民の声生かせ

世田谷町田線の上麻生工区の整備事業が着手されます。住民説明会でされた、通路の歩道橋、柿生駅入り口の信号機設置、通行の妨げになる電柱対策をとりあげ、改善を求めました。

歩道の真ん中の電柱 通行妨げを改善へ

車の交通量が多い県道稲城読売ランド前停車場線の細山6丁目の歩道の真ん中に、電柱が2本立っているため、ベビーカーや

車イスは通るのが困難です。

勝又議員は、電柱の移動を求めるとともに、市内全域の実態の調査と対策を要求。市に東電との協議・調整を約束させました。



歩道の真ん中に立つ電柱

市民の防災・安全を 優先すべき

勝又議員は、麻生区消防署栗木出張所の建設延長について、町の安全を守る拠点を待ち望む住民の声に答えて、遅延させることなく進めるよう要望しました。

安全に暮らせる
地域を

防災対策

住宅用火災警報器の
設置促進を
期限まであと1年



11年5月末に設置期限を迎える住宅用火災警報器の設置が32%と遅れていることを指摘し、制度を活用して普及を促進するよう主張しました。健康福祉局長は「独り暮らし高齢者への警報器給付事業や緊急通報システム事業の付加サービスとしての警報器設置などを周知徹底する」と約束。

防災保管庫設置条件や 補助制度の周知を



地震や豪雨の避難場所に利用される公園には、簡易トイレや防災機材の保管場所の設置が必要です。しかし、設置の基準を満たす公園が520ヶ所あるのに対して、設置数はわずか84ヶ所です。

勝又議員は災害に対する対策の充実とともに、町会や自主防災組織に対して、保管庫設置条件や補助制度の情報提供や周知を行うよう主張しました。

“土地がない”という理由で
保育園・特養ホーム増設が
進まないのに…

臨海部・企業誘致の 土地購入には 260億円

市は、水江町237億円（下写真）、殿町3丁目23.5億円など、臨海部の企業誘致の土地購入には次つぎ大金投入。共産党市議団は、認可保育園や特養老人ホーム建設のためにこそ、市が土地の確保に責任を果たすよう求めています。



臨海部・水江町の企業誘致事業用地5万5621㎡を237億円で購入する議案

自民党	民主党	公明党	共産党
○	○	○	●

08年12月議会(○賛成 ●反対)

市長は、車がほとんど走らない高速道路や、ビジネスホテル建設などを強行し、船の来ない港、川崎港コンテナターミナルに2機（32億円）あるガントリークレーンに加えて3機目を建設する設計費を2010年度予算化。こうした税金ムダづかいをやめるよう主張しているのは共産党市議団だけです。

小杉再開発で市が ビジネスホテル建設 土地代含め整備費44億円



さらに・・・
多摩川河口に新たな橋を
架ける計画も400億円
(見込額)



羽田連絡道路の建設予定地、
点線は上流案(手前は大師橋)

高速川崎縦貫道路の建設 1メートル1億円。2010年度 までに総事業費6252億円



“船の来ない港”に計画 3機目のガントリークレーン

いまある2機で年間13.5万TEUの処理能力があるのに、08年の年間取扱量は5.1万TEUでした。(1TEU=20フィートコンテナ1個)



不要不急の開発事業ストップを！ 税金のムダづかいをたただす

日本共産党 川崎市議員団 の活動

建設的提案とねばりの論戦で

市民の願いにこたえ 議会でがんばっています

35人以下学級を
小学1年生で
全校実施
2年生は
69校まで拡大

小中学校教員の「定数内
欠員」が前年274人から
2010年度115人へ

市立幼稚園の
保育料
新政権が減らした
補助を
市が補てん

所得Dランク(7,754人)
の減額分(第1子18,600
円)を補てん、前年同額
を維持

妊婦健診への
公費助成
5回から
14回に拡大

1人総額26,000円
から89,000円に増
額。里帰り出産でも
使えるように改善

公共工事での
労働者賃金を
確保する
「公契約条例」

2010年度中に策定へ

中小企業融資の
利率を
引き下げ、
雇用対策も

就業カウンセリング・
マッチング事業強化、
商店街の街路灯LED化

小中学校の
全普通教室に
エアコン設置が
完了

学校トイレ快適化
改修工事もスタート

みなさんの願いを
前進させました

共産党議員団(10人)は、市民の運動と力をあわせた市議会でのねばり強い論戦と建設的提案で、みなさんの願いを一步一步前進させました。



あいつく福祉切り捨て 市民負担増にキッパリ反対

学童保育、公立幼稚園、敬老無料バス、老人医療費助成、介護援助手当、重度障害者等の入院時食事費補助や難病患者への療養費補助まで廃止・削減するなど、福祉を次つぎ切り捨ててきた現市長。

市民いじめに自民・公明・民主などがすべて賛成するなか、共産党市議団はこれらの福祉切り捨てに反対してきました。

【市長提案の福祉切り捨て議案への各党の態度】

	自民党	民主党	公明党	共産党
重度障害者等の入院時食事補助を廃止する条例(2003年12月)	○	○	○	●
バスの敬老無料バスを廃止・有料化する条例(2004年3月)	○	○	○	●
老人医療費助成を廃止する条例(2007年12月)	○	○	○	●
後期高齢者医療制度を導入する条例(2008年12月)	○	○	○	●
介護保険料を値上げする条例(2009年3月)	○	○	○	●
市立幼稚園を廃止する条例(2009年9月)	○	○	○	●

(○賛成 ●反対)

福祉・くらし最優先で

毎年「予算くみかえ」を提案

09年10月の市長選で現市長の対立候補を立てた自民や民主は、直後の10年度の市長予算案にこぞって賛成し、自公民「オール与党」の体制を修復。共産党市議団は、ムダな開発をやめるなど財源を示して、子育てや福祉・くらしを最優先する「予算くみかえ」を毎年提案しています。

大企業に甘いなど問題点の多い市長案には 市民の目線で「条例修正案」

CO₂削減を排出企業に求めない条例案や、大企業の水道料金だけ手厚く値下げする条例案、事実上、住民投票させない住民投票条例案など、問題点の多い市長原案に対し、共産党市議団は市民の立場・目線から「修正案」を提案してきました。

《議案提案権を行使して提案》

- 住民投票条例・修正案(2008年6月)
- 水道料金条例・修正案(2009年10月)
- 地球温暖化防止条例・修正案

(2009年12月)



みどりを残す 柿生の里の緑地保全

クヌギ・コナラ・エノキをはじめ、222種類の植物と、11種類の鳥類、91種類の昆虫、哺乳類や、爬虫類などが生息している柿生の里特別緑地保全地区は、地権者さんとの5年間にわたる交渉を経て、09年3月に都市計画決定されました。自然豊かな、まとまりのある柿生の里緑地を今後、どのように残していくのかとの勝又光江議員の質問に、樹林や竹林が一体となった里地・里山の景観が、持続的に維持・保全できるよう対応していくとの答弁がありました。



**福祉・くらし・教育を大切にする市政、
安心してくらせる川崎をめざして、
これからも全力をつくしてまいります。
ご覧になりましたご意見、ご感想をお寄せください。**

かつまた みつえ 議会報告〈明るい川崎 2010年版〉

発行：日本共産党川崎市議会議員団 川崎市川崎区宮本町1番地

電話 044-200-3360 FAX 044-245-4140

URL <http://katsumata-mitsue.jp>